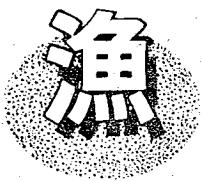


昭和39年  
11

# 広報 県民の友

毎月1日発行 第319号

発行所 和歌山市小松原通1丁目1番地 和歌山県  
発行人 広報課長 前田正毅  
印刷所 和歌山新聞社  
昭和39年5月28日国税特別承認雑誌第2816号



漁港

岸壁に打ち寄せる波は高いけれども……  
防波堤・岸壁・市場・製氷冷凍貯蔵施設…明日の漁業は、この港の力強さにたくされて伸びる。（中核漁港として整備なった串本港）



つくる

はまち・真珠・いせえびなどで代表される育てる漁業、さらにはコンクリートブロックの魚のアパート。漁業はつくられる!!

有田郡広川町唐尾の浦では、延々600㍍の防波堤が立ち並び、内海でのりがつくられる。あと3年すれば組合員の所得は倍増。

とる

古い歴史をもつ大敷網で知られたここ和歌山県の最南端、串本町大島の櫻野浦は、県下唯一の好漁場。なぎの日が年中で数えるほどしかないという荒海に、今日も人々は引き網の声をそろえる。

「イチワリ貯金の



興紀相互銀行



# るめてどう！早田君 宮本さん

世界の強豪おさえ金メダル

続こう若い紀州つ子ら

郷土の東京オリンピック選手、早田卓次君・宮本惠美子さんは、紀州つ子の本郷を十二分に發揮して、晴れの金メダルを獲得し、万原民の期待をこなしてくれました。



君からえたのだ。若さのホープといわれた早田選手であったが、「先輩達勝利にならなかった」と、あくまでもうかる自分でいたその誠実と忍耐が今日の栄光に輝いたのである。

つづいて二十五日、宮本惠美子さんの出場する日本バレーボールは、全国の人々のひとみを浴びて、二、五歳のつり輪から最終の着地、大きくなり、日ごろの練習の結果などは、見事なストレート勝ちで、頗る世界一をかち得たのである。またが宙に浮いた。や

す。

十月二十二日夜、早田選手は、政競場において、ソ連チームとの試合、この日まで見せなかつた手の内の試合は、ひどい結果では、チーム一丸となってほんとに最高の結果となり、この結果は、この日まで見せなかつた。や

す。

